

おにだいに

両津吉井小学校
3年生

おにだいの始まりと、れきし

おにだいは、250年前から始めています。そのころ、こまることがつづいたので始めるようになったそうです。



今でも、おにだいは、家をしあわせにするためにつづけられています。

家にじゃきをつけないために、おにだいで、じゃきをはらいます。(かどつけ)

おにだいの意味



おにだいは、たくさんのやり方があります。花がさで始める地区や、ししを使っている地区があります。

おにだいには、意味があります。それは、**ごさくほうじょう**（作物がゆたかに実ること）と**おびょうぞくさい**（病気もせず安全にくらせること）です。わざわいははらうためにおにだいをやっています。

おにだいは、えんぎものです。ほかのえんぎものもありますが、おにとたいこで、わざわいはらっています。



お面 地区のちがい



メスとオスのお面では目の角度が地区ごとにちがいます。目の角度がちがう地区は、下横山です。下横山とかたばたでは、よく見ると下横山のお面は目が上を向いています。かたばたは、目が真ん中にあるので、下横山だけが目が上を向いていることに気がきました。

いしょう

いしょうは、オスとメスで色がちがいます。地区では、もようが三つどもえマークになっていたり三角形がたくさんあったりします。



たいこのまわり

地区によって竹の多さがちがったり、さくらがあつたり、たいこのまわりにあるものはちがいます。たいこをカバーするぬのもあります。カバーのもようは、地区によってちがいます。

